

晃の園だより



残暑お見舞い申し上げます。梅雨が明けた途端に涼しい日が続き油断させられた今年の夏ですが、残暑なお厳しき折から、皆様お健やかに過ごしてでしょうか。夏の日差しの暑さの前では、簡単に白旗を上げてしまいがちな私たちですが、バルコニーを飾るプランターの花たちは、そんな陽射しを元気の源に変えて綺麗に咲き誇っています。

気温の上昇だけでなく、ゲリラ豪雨に変化した夕立や、見かける機会の減ってしまった青空にくっきり浮かぶ入道雲など、日本の夏は変化を続けています。でも私たちにはそんな変化に対応して、夏を乗り切っていくしか選択肢はありません。絶対に諦めることを知らない自然の営みを見習って、環境の変化にも、そして身体の変化にも柔軟に対応していくとしましょう。どちらも代わりのものはありませんから。

身近に生演奏のある暮らし

生演奏が音楽の力を倍増させます

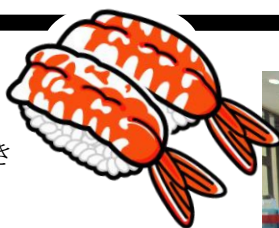
普段はイベントの時だけ倉庫から出して使用している電子ピアノを、ユニットに借りてきました。さっそく昔ピアノに馴染まれていた入居者様をお誘いしてみたところ、さらさらと色々な曲を演奏してくださいました。それも楽譜も見ずに。普段は出番の少ない電子ピアノも、気軽に演奏してもらえることを楽しんでいるようです。



他の入居者様も集まり、小さな歌の会が開かれました。皆さんからのリクエストにも笑顔と演奏で応える入居者様の姿はとても素敵でした。

ユニットに出来た小さなスペースと魅力的な活動のこれからが楽しみです。

たまには外で、違う食事を



たまには外に出て違う食事を楽しんでいただきたくて、回転寿司に出かけました。

出発する前はソワソワされていた入居者様ですが、これもまた外出の楽しみのひとつかもしれません。最初こそ慣れないお店に少し緊張されている様子でしたが、お寿司を口にされると途端に表情はやわらぎ、沢山召し上がっていらっしゃいました。最後には「毎日でも来たいよ」とのお言葉もいただけて大満足のご様子でした。



実り、芋ほり、楽しみ山盛り

自慢の畑から、収穫の喜びと笑顔をお届けします

中庭の畑でじゃがいもが収穫の時期を迎えたので、天気の良い日を選んで皆で芋掘りを楽しみました。管理人さんが丹精込めて育ててくれた畑から、次々に大きなじゃがいもが採れて…入居者様だけでなく職員からも笑顔がこぼれていました。

収穫したじゃがいもは、塩茹でやフライドポテトに調理して美味しくいただきました。採れたて新鮮な大地の恵みの味が格別だったのは言うまでもありません。収穫から調理、そして味わいまでが満喫できた畑の実りのお話でした。



笹飾りに願いを込めて 昔書いた願いごと、今だから思う願いごと

今年の七夕の夜は珍しく星々を見ることが出来ましたね。そんな七夕に園内でもあちこちで七夕飾りが用意されていました。飾られた沢山の短冊にそれぞれ願い事が描かれている綺麗な七夕飾りです。

昔書いた願いに思いをはせながら、でも今だからこそ思う願いごとが綴られた沢山の短冊が、笹の葉と共に静かに揺れていました。



ユニット自家製の梅干しづくり

ちょうどいい季節なのと、入居者様を含めユニットにも経験者が沢山いらっしゃるので、ユニットで梅干しを作ってみることにしました。職員さんが用意してくれた梅の実を下ごしらえして、天気の良い日には初夏の日差しもたっぷりと浴びてもらいました。

さて、ひと月が経ちました。梅たちはこんなに赤く染まり、香りも梅干しの酸っぱい匂いがしています。入居者様にも沢山手伝っていただき、美味しい梅干しが出来上がりそうです。味見が楽しみです。



普段の生活から

私たちの暮らしは、なにげない毎日の積み重ねでできています



バルコニーのプランターで、先日お花の植え替えをしました。

色とりどりの花をどんな風に並べるか、相談しながら作業を楽しみました。暑さに負けず元気に花を咲かせてくれるように、声を掛けながら育てていきたいです。



時季の果物を使ってフルーツパフェを作りました。「美味しい〜」「たまにはこんなに甘い物を食べるのもいいわね〜」と好評でした。アイスが溶けないうちにと、みんなで慌てて食べてしまいました。甘い物はやっぱり美味しいですね。

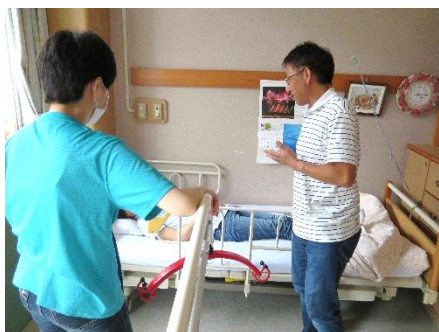


ご近所のユニットから散歩に来られていた入居者様が、洗濯物を畳むのを手伝ってくださいました。できる事、落ち着く事、安心する事、そして役に立てる事。十人十色ではありますが、その関わりのバランスは繊細かつ重要です。

晃の園ショートステイ通信

満を持して、晃の園ショートステイにもいよいよ介助リフトが登場

介助する側だけでなく、介助される側にも大きなメリットがある移乗用介助リフト。在宅生活の延長上でご利用いただくサービスとして、晃の園ショートステイでは、在宅で馴染みの少ないリフトの活用をこれまであえて控えてきました。けれども運用実績を重ねる特養から聞かされる数多くのメリットを再確認したことを受け、いよいよこの夏、移乗用介助リフトの活用をスタートさせることとなりました。



移乗用リフト運用 5 年の実績とノウハウを惜しみなく投入

運用の継続に工夫が必要とされる介助リフトですが、特別養護老人ホーム晃の園には、既に 5 年に及び運用実績があります。今回の投入にあたり、特養で経験を積んだ職員や、園内に 5 人いる福祉用具プランナーの 1 人をショートステイに配置して万全の体制を整えました。

また、スキルの向上を目指した勉強会を

継続的に開催し、今年晃の園全体で実施される独自の福祉用具検定制度にも参加する予定です。

とはいっても、全ての方にリフトを使用していただくということではありません。シートやボードなど、利用者様の状態に合わせた最適な組み合わせで福祉用具を活用していきます。そしてその中で気づいた、在宅での生活に還元できそうな新たな情報をご家族に伝えることで、介護負担の軽減にも貢献したいと考えています。



羽鳥で新しいこと始まります！ 小さなスペースから大きな繋がりへ



駿河会が羽鳥地区に開設した新拠点では、居宅介護支援事業と訪問介護事業が元気に稼働中ですが、スペース的にまだまだ余裕がある状態です。駿河会ではこの空きスペースを有効に活用し、今後様々な地域との繋がりを意識した活動を展開していきます。

その第一弾として、静岡市からの委託事業としての地域交流事業を、8月から来年3月まで毎月一回計8回開催します。限られたスペースでの小さな活動ですが、地域との繋がりを大きく育てるきっかけにしたいと思います。ご期待ください。



社会福祉法人駿河会 特別養護老人ホーム晃の園 平成 28 年 8 月発行
〒421-1311 静岡県静岡市葵区富沢 1542-39

電話 054-270-1210 ホームページ : <http://www.surugakai.net/hikari/>